

# 障がい者スポーツ振興事業

資料 5

障がい者支援課

元年度予算額	78,176千円	国 補 : 5,336千円 国 委 託 : 3,200千円 繰 入 金 : 24,670千円 一般財源 : 44,970千円
30年度予算額	64,223千円	( 国 補 : 5,446千円 繰 入 金 : 13,138千円 一般財源 : 45,639千円 )

## 1 目的

2020年東京パラリンピック大会、2027年全国障害者スポーツ大会の長野県開催のムーブメントを活用し、障がい者スポーツの理解促進や競技力の向上、誰もがスポーツを楽しめる環境の整備など、障がい者スポーツの振興を図るとともに、スポーツを通じた交流の促進など共生社会の実現に向けた取組を進める。

## 2 事業内容

(単位：千円)

区分	事業内容	元年度 予算額	30年度 予算額
スポーツ環境づくり	<p>障がい者スポーツの理解促進や誰もが身近な場所で運動やスポーツに参加できる場所、指導者の育成などの環境づくりを進める。</p> <p>⑨・77市町村におけるパラスポーツキャラバンの開催 市町村や競技団体等と連携し、パラスポーツ体験会等を開催 キックオフイベントとして「パラスポーツフェスタ in 松本」開催 6月2日(日) 10:00~15:00 松本市総合体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合型地域スポーツクラブを活用した障がい者スポーツ拠点づくり 総合型クラブと障がい者福祉施設が連携してスポーツ機会を提供</li> <li>障がい者スポーツ地域コーディネーターによる連携・調整 地域の障がい者、障がい者スポーツ関係者、一般スポーツ団体等を相互に繋ぐ調整役として、県障がい者スポーツ協会に配置</li> </ul> <p>⑩・学生を対象とする大学連携による障がい者スポーツ指導者の養成 ・障がい者スポーツ指導員の養成研修の実施</p>	19,814	6,694
スポーツ機会の提供	<p>競技を通じてスポーツの楽しさを体験する機会を提供するとともに、県民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の促進を図る。</p> <p>[県内大会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区障がい者スポーツ大会 (5~6月：県下10地区)</li> <li>県障がい者スポーツ大会 (9月：松本市ほか)</li> <li>県障がい者スキー大会 (2月：長野市)</li> </ul> <p>[全国規模]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野車いすマラソン大会の経費負担 (4月：長野市)</li> </ul>	17,511	17,398
競技力の向上	<p>競技団体が行う選手の発掘、育成、強化事業等に対する支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピアン育成支援に対する補助 東京や北京のパラリンピック等への出場を目指す本県選手の強化</li> <li>障がい者スポーツの選手強化等に対する補助</li> <li>全国障害者スポーツ大会等への選手派遣</li> </ul>	20,348	21,277
活動支援	<p>障がい者スポーツ競技団体を統括する県障がい者スポーツ協会の活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人件費及び運営費を補助</li> </ul>	20,503	18,854
合 計		78,176	64,223

# スポーツを通じた共生社会創造プロジェクトの取組について

障がい者支援課

来年の東京 2020 パラリンピック、2027 年の本県での全国障害者スポーツ大会開催を見据え、昨年 6 月に県と公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター（パラサポ）が締結した協定に基づき、障がいの有無や年齢、性別を問わず、誰もがともに楽しむことができるユニバーサルなスポーツであるパラスポーツの体験と教育を通じて共生社会を目指す取組「パラウェーブ NAGANO」プロジェクトを推進。

## 1 本年度の取組

### (1) 体験機会の拡大

- ・市町村や競技団体と連携して、県内 77 市町村でパラスポーツの体験会を実施する  
信州パラスポキャラバンの実施
- ・ボッチャのサポーター養成研修と県大会の実施
- ・総合型地域スポーツクラブと連携した障がい者スポーツの実施環境の整備

### (2) 教育と学びの普及

- ・パラサポが提供する教育プログラムの普及（国際パラリンピック委員会公認教材 I'mPOSSIBLE、あすチャレ！事業の実施校の拡大）
- ・パラサポ教育プログラムに関する教員向け研修の実施
- ・県内大学と連携し、学生に対する障がい者スポーツ指導員養成研修の実施
- ・企業向けダイジェストセミナーの開催

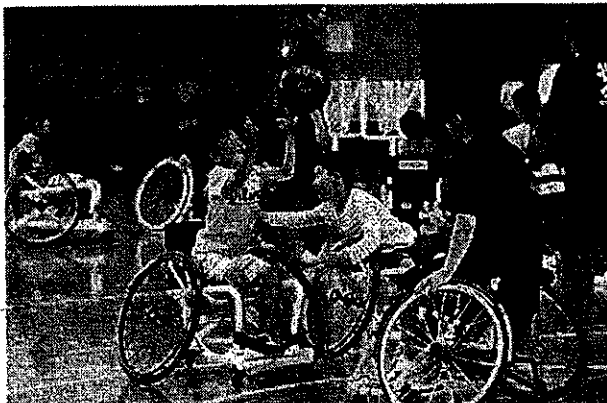
## 2 キックオフイベント「パラスポーツフェスタ in 松本」の開催状況

(1) 日時 6月2日（日）10:00～15:00

(2) 場所 松本市総合体育館

### (3) 主な実施内容

- ・8種類のパラスポーツ\*体験コーナーを用意し、約550人の来場者がゲストの県内プロスポーツチームの選手等とともに実際に体験。  
※車いすバスケットボール、ボッチャ、パラ・パワーリフティング、ゴールボール、フライングディスク、スポーツウェルネス吹矢、ウォーキングサッカー、レーザー体験の8種類
- ・阿部知事によるパラウェーブ NAGANO の取組及びロゴマークの発表
- ・オリパラのメダリスト等と阿部知事との対談 など



# パラウェーブ NAGANO・ポッチャプロジェクトについて

障がい者支援課

昨年6月に県と日本財団パラリンピックサポートセンターが締結した協定に基づき、パラスポーツの体験と学びを拡げる「パラウェーブ NAGANO」プロジェクトを実施中。特に本年度は、誰もが一緒に楽しむことができるユニバーサルなスポーツであるポッチャの体験を以下のとおり重点的に広げていくことで、障がいの有無、年齢、性別等を超えて人々の交流を図り、共生社会の実現を目指す取組を推進。

※ポッチャは、元々は重度の脳性まひや四肢機能障がいの方を対象として考案された競技で、東京パラリンピックの正式競技であり、2027年に本県開催予定である全国障害者スポーツ大会でも実施予定。

## 戦略1 成果の発表の場を設定

ポッチャ競技大会「第1回パラウェーブ NAGANO カップ」の開催（地区・県大会）

11月～12月に県内4か所で地区大会、来年2月11日に安曇野市で県大会を開催することとし、9月6日（金）から参加チームの募集を開始。

地区大会は各24チームで競い、上位5チームが県大会に進出。県大会は地区大会通過20チームに加え、主催者招待4チームを加えた24チームで競う。大会全体で100チームの参加を予定。

参加資格は、障がいの有無等にかかわらず、小学生以上なら誰でも参加可能。チームは3～6人で編成し、試合は3人のチーム戦。

区分	期日	会場
南信地区	11月4日（月）	辰野町町民体育館
東信地区	11月9日（土）	東御市中央第1体育館
北信地区	11月16日（土）	戸倉体育館（千曲市）
中信地区	12月14日（土）	穂高総合体育館（安曇野市）
県大会	2月11日（火・祝）	穂高総合体育館（安曇野市）

## 戦略2 身近な地域で楽しめる環境を整備

### (1) 用具の確保・貸出

ライオンズクラブ、長野県遊技業協同組合、大塚製菓（株）から、ポッチャ用具計45セットの寄贈を受け、保健福祉事務所や教育事務所等に配置して、希望に応じて貸出。

